「金沢大学創基 150 年記念事業「講演会・シンポジウム」シリーズ 市民公開講座(金沢国際がん生物学シンポジウム・日本分子生物学会第11回春季シンポジウム)を開催しました

4月24日(日), 金沢21世紀美術館・シアター21において, がん進展制御研究所及び日本分子生物学会が共同主催となり, 市民公開講座 「高校生のための分子生物学:金沢21世紀美術館でサイエンス!」 が開催されました。

今回は、会場が美術館ということから、「分子生物学とアー ト」というテーマで、お二人の講師の方にご講演を頂きました。 お一人目は、科学ジャーナリスト・元 NHK 解説委員の小出 五郎氏で、「名画にみるこころとからだ」と題し、ダヴィンチやミ ケランジェロなどの芸術作品を用い, 科学者及び芸術家双方 からの視点を分かりやすくご講演頂きました。お二人目は、大 阪大学大学院生命機能研究科・教授の近藤 滋氏で、「波が 作る生物の模様と形」と題して、身近な魚や動物を用いたご 自身のこれまでの研究から発見した。生物と数学の不思議な 関係をご講演頂きました。どちらの講演も参加した約 140 人 の高校生・一般の方々に分かりやすく熱心にご説明されてい ました。質問コーナーにおいては、講演内容において疑問に 思った事柄を積極的に質問する生徒が多数見られ、その質 問に対し、お二人の講師の先生が丁寧に回答していました。 参加した多くの高校生が、身近なところから分子生物学の楽 しさ、面白さを実感できる大変有意義な公開講座となりまし た。













名画に見るこころとからだ一科学者の目、芸術家の目一

小出五郎氏:科学ジャーナリスト・元NHK解説委員

絵画は作者の気持ちと社会の姿を映す鏡です。石器 PROFILE 時代の洞窟に描かれたマンモスの心臓。当時の人々 の心臓に対する特別の思いが感じられます。モナリ ザで有名なレオナルド・ダ・ヴィンチは、人の心が 脳内の空間に醸し出されるさまを描きました。今は 分子生物学が、人の心の状態を脳内の神経伝連物質 からある程度説明できるようになりました。何枚か の絵画を「鏡」にして、心を探し求めた歴史の一端を お話しするつもりです。

0

小出 五郎氏にいで ごろう) 科学ジャーナリスト・元NHK解説委員

1964 東三大学賞学部平高 旧計編工器学考改 NHKICAR, ディレクター・キャスター として、数多くの科学業部の企画・刊 作に誘わる. 1969 NHK模数党局、軽度主幹(-2004) 2002 大妻女子大学教信(-2006) 科学ジャーナリスト巻巻長(-2004)

2005 日本科学技術ジャーナリスト会議 (JASTJ) 会長 (-2009)

・ 実成・ 1984年 NHK 特集 (検数争儀の地球」で 当前祭 大賞、日本ジャーナリスト会選賞大賞、イタリ ア宮大賞など、1986年 NHKスペシャル「業費 の小宇宙・人体」で日本賞など、2010年第55 同期 記言・

MEMO						
,						
	-					

波が作る生物の模様と形一生物と数学の不思議な関係-

近藤 滋氏:大阪大学大学院生命機能研究科·教授

動物の皮膚の模様は、とてもきれいで目を引きます が、同時にたくさんの謎に包まれています。どうし てあんなにいろいろな種類があるのか?シマウマ の縞模様は生存に役に立つのか?いろいろな模様 が進化した原理は?そもそも、細胞は、どうやって あんな模様を描いているのか?整くべきことに、こ れらの疑問に対する答えは全て、イギリスの天才数 学者アラン・チューリングが発見した [反応拡散系] の原理から導き出されるのです。この講演で、あな たはきっと、生命現象も単純で美しい原理に支配さ れた自然の一部であることを実施することになる でしょう。

PROFILE

近藤 滋氏(Chies Life) 大阪大学大学院生命機能研究科 時空生物学講座 教授

ly .	
мемо	
J mcmo	